

宮城県考古学会連絡紙

第 70 号

平成 29 年(2017)8 月 12 日発行

〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1

東北大学大学院文学研究科考古学研究室気付 宮城県考古学会事務局

平成29年度 宮城県考古学会総会・研究発表会報告

5月14日(日)に、東北歴史博物館 講堂において、平成 29 年度宮城県考古学会総会・研究発表会を以下の日程で開催しました。

★総会 10:00～10:50

佐々木 和博会長から開会の挨拶があり、つづいて議長団の選出により4件の議事が行われました。

議案第1号 平成 28 年度事業報告

議案第2号 平成 28 年度収支決算報告・監査報告

議案第3号 平成 29 年度事業計画(案)

議案第4号 平成 29 年度収支予算(案)

以上の各議案について担当幹事から説明があり、審議の結果、議案第1号から第4号まで承認されました。

★研究発表会 11:00～16:40

○特集『被災文化財等保全活動の6年間を振り返る』

特集趣旨説明

報告1「宮城県での被災文化財等保全活動の成果と

課題」東日本大震災対策特別委員会 藤澤 敦氏

報告2「資料ネット活動の現状と今後

－宮城歴史資料保全ネットワークの活動を中心に－

宮城歴史資料保全ネットワーク 天野 真志 氏

報告3「宮城県被災文化財等保全連絡会議の活動と

今後」東北歴史博物館 小谷 竜介 氏

特別報告「福島県での被災文化財保全活動の現状と

課題」福島大学 菊地 芳朗 氏

全体討議

○研究発表

「多賀城城下とその周辺におけるイベント堆積物」

相原 淳一 氏

「宮城県における縄文時代のアスファルト」

村上 祐次 氏

「陸奥国分寺の中世の五輪塔－三次元写真計測による

復原と、五輪塔の造営背景－」 及川 謙作 氏

閉会行事

平成29年度事業計画

1. 平成 29 年度総会・研究発表会 前項参照
2. 宮城県遺跡調査成果発表会
日時:12 月予定 会場:未定
3. 創立 20 周年記念事業準備
4. 連絡紙の発行
5. ホームページの運営
6. 役員会の開催
7. 後援等の実施
8. 研究部会の活動への支援

※詳細については後日、本会 Web サイトに掲載いたします。

宮城県考古学会創立 20 周年記念事業について

本会は、来年度 2018 年 5 月に創立 20 周年を迎えます。そこで、会員の皆様には、今年 4 月刊行の連絡紙と共に 20 周年記念事業の内容に関するアンケートを配布しておりました。ご回答頂いたアンケートでは、①シンポジウム等の開催、②論集等の刊行等の様々な御意見がありました。そして、5 月の総会において特別委員会の設置が決定された後に、5 月 30 日には三役と特別委員会委員長によりアンケート内容の確認をし、特別委員会(6 月 18 日)、役員会(7 月 8 日)にてこれらの内容を踏まえた協議を行って参りました。

その結果、ご提案頂いた内容の一部に関しては、今後の通常の大会で実施することが可能であること、論集刊行は時間や体制の面から難しいこと等が意見として出されました。これらの意見を踏まえ、下記のような内容で創立 20 周年記念大会を進めさせて頂ければと考えております。

2018 年 5 月 13 日(日)に東北大学川内南キャンパスにおいて、20 周年記念シンポジウムを開催する。このシンポジウムでは、設立時の頃の様相について当時を知る会員に記念講演をして頂くと共に、この 10 年間の宮城県内における考古学的成果と課題について、時代ごとに発表を行う。また、発表と関連させたパネルディスカッションと遺物の展示会を開催する。そして、これらの内容については、一般の方々にもわかりやすく説明するように心がける。一方で、会誌に関しては、この 10 年間の考古学的様相に関して専門的に論述する。その際に、その記載内容等について異なる意見等がある方は、次号

にコメントとして投稿して頂くこととする。

シンポジウム等の詳細な企画内容に関しては、現在継続的な検討を行っています。今後の連絡紙にて皆様にご報告できればと考えております。どうぞご理解とご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

創立 20 周年記念事業特別委員会
委員長 菅野 智則

栗原市 入の沢遺跡について

本会にて保存を要望してきた栗原市入の沢遺跡について、国の文化審議会は、平成 29 年 6 月 16 日に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、同遺跡を史跡として指定するよう文部科学大臣に答申しました。

この結果、答申を受けて行われる官報告示を経て、県内では 35 件目の史跡として指定されることとなります。

博物館 展覧会・イベント等情報

【東北歴史博物館】

◆特別展(熊と狼—人と獣の交渉誌—)9月16日(土)～11月19日(日)

明治から昭和期の歴史民俗資料を通して野生動物と人間社会の関わりについて展示

◆テーマ展(骨角器の世界)～平成 29 年 12 月 3 日(日)

里浜貝塚と田柄貝塚の骨角器群を中心に展示

◆館長講座(発掘でめぐる世界)鷹野 光行 館長

会場:東北歴史博物館 3F 講堂、時間:13:30～15:00、受講無料・申込不用

「第 8 回 シチリア島の遺跡(2)」8 月 19 日(土)

「第 9 回 タルクイニアでの調査」9 月 2 日(土)

「第 10 回 タルクイニアの町と世界遺産」9 月 16 日(土)

「第 11 回 ローマ郊外オステアの遺跡」10 月 7 日(土)

「第 12 回 バエストゥムの遺跡と博物館」10 月 21 日(土)

「第 13 回 ソンマ・ベスピアーナ」11 月 4 日(土)

「第 14 回 ポンペイを歩く」11 月 18 日(土)

「第 15 回 指宿市敷額遺跡の調査」12 月 2 日(土)

【仙台市地底の森ミュージアム】

◆企画展

「いにしえの木林森」

会 期:～9月24日(日)

観覧料:一般 460 円、高校生 230 円、小・中学生 110 円

※30 名以上の団体は団体料金

会期:平成 29 年 7 月 21 日(金)～9 月 24 日(日)

○講演会

「森と人のつながり—旧石器時代から縄文時代の森林とその利用—」

日時:8 月 19 日(土)13 時 30 分～15 時 30 分

講師:工藤 雄一郎先生(国立歴史民俗博物館准教授)

会場:太白区中央市民センター3 階大会議室

※事前申込み不要。先着 100 名。

○イベント

「木をしらべよう、つくってみよう」

日時:8 月 27 日(日)、9 月 10 日(日)13 時～15 時

会場:地底の森ミュージアム 展望ラウンジ

※事前申込不要。入館料がかかります。

【史跡 陸奥国分寺・尼寺跡】

◆ガイダンス施設開館(7 月 28 日～)

国分寺・国分尼寺の創建や、平安時代の貞観地震を経て、寺と当地域が復興するまでの歴史等を、パネルや発掘調査の出土品を展示して、わかりやすく紹介。

1 所在:仙台市若林区木ノ下二丁目 5-1

2 開館日:年中無休(ただし、施設の保守・点検のため休館する場合があります)

3 開館時間:午前 9 時から午後 5 時まで

4 入館料:無料

【山王ろまん館(栗原市一迫埋蔵文化財センター)】

◆企画展

「くりはら遺跡発掘 平成 28 年度の発掘調査展」

清水山 I 遺跡、大穴山遺跡、伊治城跡、白坂城跡、花栗遺跡、大寺跡の調査成果のパネル説明と遺物展示。

期間 ～8 月 27 日(日)

開館時間 午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分

休館日 毎週月曜日・祝日

観覧料 一般 200 円(団体:160 円)、小中学生・高校生 100 円(団体:80 円) ※団体は 20 人以上

お知らせ

宮城県考古学会では『大地からの伝言—宮城の災害考古学—』を発刊しており、希望者には有償(一冊 500 円)で頒布いたします。詳細は本会 Web サイト(<http://www.m-kouko.net/>)をご確認ください。

情報・寄稿などをお寄せ下さい！！

考古学に関する情報や寄稿、会員通信等をお寄せ下さい。また、連絡紙の愛称や内容、取り上げて欲しいこと、提言などご意見ご要望もお待ちしております。

本会 Web サイト(<http://www.m-kouko.net/>)では、本会連絡紙のほか、お寄せいただいた情報を随時掲載いたしております。発掘調査情報、学会、イベントなど考古学に関する情報をお寄せください。

<連絡先> 古川 一明(連絡紙代表幹事)

E-mail:info@m-kouko.net(宮城県考古学会)